

総合的な学習の体験学習



～3年生 お店インタビュー～



～4年生 鮭の採卵と受精～



ほうない

第9号

村上市立保内小学校
強い心 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋264-2

TEL0254-62-2302

FAX0254-62-5553

地域の未来の担い手を育てる

校長 須貝 学

地域の魅力を発信する「未来のチカラ in 県北」の提言フォーラムが、11月4日に胎内市産業文化会館を会場に開催されました。新潟日報でも紹介されましたが、協議の中で村上市の高橋邦芳市長が「地元のことを知って誇りにし、未来へつなげて行くには教育が欠かせない」と地域の人材育成における教育の重要性を語っていました。

このプロジェクトは、県内の各地域が抱えている課題について協議し、10年後の地域の輝く姿を探っていくことを目的にしています。各地域の代表がまとめた提言から、地域の市町村長との協議を通じて、輝ける地域づくりに向けた施策についての話し合いが行われました。

フォーラムのテーマでもある「地域の未来や10年後」を支える資源は、最終的には人と育んでいこう。そして、その地域の未来を担う人材の育成には、やはり教育が大切であるということも間違いありません。

江戸時代に日本を訪れた外国

人が異口同音に語っていたのが、日本人の教育水準の高さだったそうです。当時、世界的に見ても、一般庶民までが文字を読み書きできる民族は日本人くらいしかいなかったそうです。庶民がそうなのだから、当時の知識層であった武士にいたっては、なおさらだったようです。

また各地の藩校は、明治維新後も小学校や中学校に転用され、旧藩領内の発展に大きな力を及ぼしました。鎖国が解けてから、わずかな期間に西欧の近代教育が、全国各地に広がっていったのは、藩校という各地域の教育の仕組みが確立していたことも大きかったようです。

長岡藩の「米百俵の精神」からも窺えるように、子どもたちや地域の将来を見据えた大局的見地に立った教育が大切であると考えます。教育は地域の未来への投資であるという信念をもち、目先のことに流されない、真に「強い心、豊かな心」をもった子どもたちを育てる骨太な教育を進めてまいります。